

CSRの重要課題(マテリアリティ)と取り組み状況









当社グループでは、「事業活動を柱として、社会の持続的な発展に貢献します」というCSR活動方針のもと、ステークホルダーとの対話で得られたご意見を参考にしながら、CSRの重要課題を特定しています。

また、2030年に向けて世界的な優先課題やあるべき姿を明らかにしている「持続可能な開発目標(SDGs)」に、当社グループのマテリアリティを中心とする関連した取り組みを通じて貢献することを目指しています。

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals:SDGs)


















2015年9月、国連サミットにて「持続可能な開発目標(SDGs)」が全会一致で採択されました。2030年までに達成すべく、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動等に関する17のゴールが宣言されています。



重要課題	ステークホルダー 参画の機会(参加者)	重要である理由	KPI(マネジメントアプローチ)		KPI(マネジメントアプローチ)			集計範囲	関連するSDGs	関連ページ		
			管理のポイント・指標	2021年度目標	2021年度実績	2022年度目標	2022年度実績					
 お客さま	交通安全の 取り組み	高速道路での交通事故は、死傷事故など重大な事故につながります。	死傷事故率※1(自動車走行車両1億台kmあたりの死傷事故件数)	4.4件/億台km	3.2件/億台km	4.2件/億台km	NEXCO西日本事業エリアの全国路線網	 3 すべての人に健康と福祉を	19ページ			
			車線令違反車両取締台数(高速道路上で実施した車線令違反車両取締における措置命令台数)	—	302台	—			17ページ			
			逆走事案件数※1(交通事故または車両確保に至った逆走事案件の件数)	44件	73件	—			21ページ			
			人等の立入事案件数(歩行者、自転車、原動機付自転車等が高速道路に立入り、保護した事案件の件数)	850件	815件	810件			—			
			顧客満足度(CS調査で把握する維持管理に関するお客さまの満足度(5段階評価))	3.7ポイント	3.7ポイント	3.7ポイント			43ページ			
	快適な高速道路空間の提供	高速道路の円滑な交通を24時間365日確保することによって、国民生活を豊かにし、経済活動を支えることが、当社の責務です。	年間利用台数	1,079百万台	985百万台	975百万台		 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	7ページ			
			通行止め時間(営業延長(上下線別)あたりの雨、雪、事故、工事等に伴う年平均通行止め時間)	63時間	87時間	—			13-22ページ			
			本線渋滞損失時間※1(渋滞が発生することによるお客さまの年間損失時間)	605万台・時	287万台・時	594万台・時			21ページ			
			路上工事による交通規制時間※1(道路1kmあたりの路上作業に伴う交通規制時間)	127時間/km	134時間/km	—			15,16ページ 21-28ページ			
			ベビーコーナー設置箇所数	—	6カ所 (累計103カ所)	—			 8 働きがいも経済成長も	32ページ		
SA・PAのお客さま満足施設への変革	高速道路は基本的なインフラであり、誰もが利用しやすい施設であることが求められます。	キャッシュレス決済率	—	24.7%	—	32ページ						
		新規開通路線延長	16.1km	16.2km	—	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	23,24ページ					
 社会	社会基盤である高速道路の整備と長期保全	高速道路ネットワークは、国民生活を豊かにし、経済活動を支える、基礎的な社会資本です。また、輸送コストの削減や交通事故の減少にも貢献しています。	4車線化完成路線延長 ※道路整備特別措置法第3条に基づく改築事業に限る	31.9km	31.9km		3.6km	 11 住み続けられるまちづくりを	25,26ページ			
			快適走行路面率 (快適に走行できる舗装路面の車線延長)	98%	98%	97%	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう		NEXCO西日本ウェブサイト			
	災害対応力の強化	災害発生時、高速道路には、被災地域の救急・復旧・復興のインフラとしての役割が求められています。	南海トラフ地震被害に備えての資機材の新規備蓄箇所	4カ所 累計 248カ所	2カ所 累計 246カ所	2カ所 累計 248カ所		 11 住み続けられるまちづくりを	13,14ページ			
			地域物産展実施エリア	—	58カ所	—	 8 働きがいも経済成長も		35ページ			
	高速道路を通じた地域活性化	人口減少時代を迎え、沿線地域の活性化への貢献が求められています。	地元が販売・イベント等によりSA・PAを利用した日数	のべ3,529日	のべ3,351日	のべ3,536日		 17 パートナシップで目標を達成しよう	35ページ			
			ウェルカムゲート(一般道からSA・PAに立ち寄れるゲート)新規設置数	1カ所 (累計78カ所)	0カ所 (累計77カ所)	—	 8 働きがいも経済成長も		NEXCO西日本ウェブサイト			
地域振興や観光振興を目的とした企画割引等の販売件数			139千件	29千件	156千件	30ページ						
 投資家・国民の皆さま	透明性の高い経営と着実な債務の返済	国民の財産である高速道路を管理する事業者として、透明性の高い経営が求められています。また、高速道路機構の債務返済を着実に進めていくため、経営の効率化が求められています。	高速道路機構の債務削減	9ページの「高速道路機構の債務残高」をご覧ください。			(旧道路関係4公団)	 16 平和と公正をすべての人に	9ページ			
			積極的な情報公開	社長大例会見(毎月開催)	Facebookを活用した広報展開(NEXCO西日本公式Facebook登録者数の増)	—	登録者数 29,000件		登録者数 30,000件	NEXCO西日本	 16 平和と公正をすべての人に	46ページ
					CSR報告書での企業活動報告	1回	1回		1回	NEXCO西日本グループ	58ページ	

※1 集計期間：2021年1月1日～12月31日

CSRの重要課題(マテリアリティ)と取り組み状況

重要課題	ステークホルダー 参画の機会(参加者)	重要である理由	KPI(マネジメントアプローチ)		KPI(マネジメントアプローチ)				関連ページ			
			管理のポイント・指標	2021年度目標	2021年度実績	2022年度目標	集計範囲	関連するSDGs				
 公正な取引関係	<ul style="list-style-type: none"> ● 入札監視委員会(外部有識者) 	国民の財産である高速道路の建設・管理を担う会社として、公共調達に係る契約の透明性の確保が求められています。	入札監視委員会の実施回数	—	8回 (各支社2回)	—	NEXCO西日本		44ページ			
			安全・安心にかかる講習等	—	年2回	—	飲食物販テナント事業者等		—			
			誤給油防止訓練	—	年2回	—	元売テナント事業者等	—	—			
 「安全・安心、信頼され成長する企業グループ」を担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● キャリア相談窓口(NEXCO西日本社員) ● 経営懇談会、労使協議会(NEXCO西日本労働組合員) ● 外部講師による研修(グループ社員) 	安全・安心を最優先に、高速道路の進化に挑み続けるため、一人ひとりが仕事を通じて自律的に成長していける人材育成と、組織・会社の自己変革が重要だと考えています。	階層・職種別研修	—	のべ 899回	—	NEXCO西日本グループ	 	42ページ			
			資格取得支援制度の利用者数	—	365名	—	NEXCO西日本	—	—			
			女性管理職者比率	—	9.3%	—	NEXCO西日本グループ		41ページ			
 脱炭素社会の実現 循環型社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種の対話の機会を通じた環境コミュニケーション(お客さま、地域住民、従業員、専門家) 	高速道路では、自動車から大量のCO ₂ が排出されるため、道路運営全体で、その排出量削減が求められます。	道路施設の維持管理に要する電気使用量	2020年度実績より1.0%以上削減する(2020年度72.2kWh/km)	1.5%削減	2020年度実績より2.0%以上削減する	NEXCO西日本事業エリア	 	18, 39,40ページ			
			新設料金所等に太陽光発電を設置する	累計20kW	累計20kW	累計20kW	NEXCO西日本事業エリア	—	—			
			次世代車両用スタンド整備に向けた新エネルギー補充用技術を開発する	電気自動車用急速充電設備を新たに4基増設する	電気自動車用急速充電設備を2基(4口)整備完了	電気自動車用急速充電設備を新たに18口増設する	NEXCO西日本事業エリアのSA・PA		36, 39,40ページ			
			事務用品における特定調達物品等の調達率	100%	100% (規格等により適合商品がない場合を除く)	100%	NEXCO西日本	—	—			
			植物系廃棄物(草刈等)の再生資源化率	95%以上	93.7%	97%以上	NEXCO西日本事業エリア		39,40ページ			
			建設発生土の再利用率	80%以上	89.1%	80%以上		39,40ページ				
			アスファルトコンクリート塊の再生資源化率	99%以上	99.9%	99%以上		39,40ページ				
			コンクリート塊の再生資源化率	99%以上	100%	99%以上	39,40ページ					
			自然と共生する社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会(外部有識者、地域住民) ● 鶯殿ヨシ原の環境保全に関する検討会(外部有識者、地域住民) その他、必要に応じて外部委員会を設置	高速道路の建設では、沿道地域の自然環境に影響を及ぼすため、その影響の緩和が重要になります。また、沿道地域の生活環境を守るため、道路交通による騒音の低減が求められています。	動物侵入防止対策の設置・改良箇所	54km	61km	54km	NEXCO西日本事業エリア	 	28, 39,40ページ
						遮音壁の設置(設置延長)	累計0.5km	累計1.4km	累計1.4km	—	—	
 「安全」「環境」「地域貢献」の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 高速道路交通警察隊(当社事業エリアの各府県) ● 高速道路安全協議会(当社事業エリアの各府県) ● 包括協定・連携協定(各地域の地方公共団体) 	社会インフラを管理する公共性の高い企業として、地域社会への貢献が求められています。	交通安全啓発活動	—	のべ51回	—	NEXCO西日本グループ	 	19ページ			
			職場周辺や各地域での清掃活動	—	のべ885回 8,609人	—	—	—	39ページ			
			つなぎの森活動	—	2回	—	NEXCO西日本管内3カ所	—	39ページ			